

平成30年度第7回登別市教育委員会会議録

日 時 平成30年11月1日（木）午後4時30分

場 所 登別市民会館 小会議室

第7回 教育委員会議事日程

1 日 時 平成30年11月1日(木) 午後4時30分

2 場 所 登別市民会館 小会議室

3 議 案

議案第10号 平成29年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価報告について

4 情報提供

1. 平成30年度登別市功労者表彰及び登別市表彰被表彰者の決定について
2. 教育ふれあいウイークについて
3. 小学校外国語活動推進に係る取組の状況について
4. 登別版<家族の週間>の実施について
5. 平成30年度西いぶり定住自立圏文化事業について
6. 登別市教育振興基本計画の策定について

5 出席者

(教育委員会5名)

| | | |
|-----|-----|-----|
| 教育長 | 武 田 | 博 |
| 委 員 | 垣 内 | 登紀子 |
| 委 員 | 森 口 | 達 |
| 委 員 | 赤 井 | 秀 輝 |
| 委 員 | 堅 田 | 裕 |

(事務局9名)

| | |
|--------------|-------|
| 教育部長 | 佐藤 史彦 |
| 教育部参与 | 野崎 均 |
| 教育部次長 | 橋場 太 |
| 総務グループ建築主幹 | 出口 利美 |
| 学校教育グループ総括主幹 | 舘下 貴子 |
| 学務主幹 | 小野島 晶 |
| 社会教育グループ総括主幹 | 安部 直也 |
| 学校給食センター長 | 吉田富士夫 |
| 図書館長 | 綿貫 亨 |

○武田教育長 それでは、本日の委員会は5名が出席されておりますので、有効に成立していることをご報告します。これより平成30年度第7回教育委員会を開催します。本日の議事は議案1件になります。それでは早速議事に入ります。議案第10号「平成29年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価報告書について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○野崎教育部参与 「平成29年度 教育委員会点検・評価報告書」案を作成いたしましたので報告いたします。この報告書は平成19年に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすために、教育委員会が所管する事務の管理・執行状況を内部で点検・評価を行い、学識経験者の知見を受けて報告書としてまとめ市議会に提出するとともに、広く公表するものであります。

教育委員会の評価は、市で行っている事務事業評価によって効果的に進められておりますが、この点検・評価は、それとは別に教育委員会の活動を組織的、継続的に改善し教育行政の担い手としての役割を果たすことを目的とし、「教育委員会の活動状況」や「教育行政執行方針」の重点施策の達成状況を検証するものであります。実際には教育行政執行方針に位置付けられている19の重点項目のそれぞれについて自己評価を行うとともに、2ページに示している4段階の評定を行い、58ページにあるように学識経験者からの意見、助言を受けるという形になっております。なお、学識経験者からの知見については、一昨年まではそれぞれの方から文章で受ける方法をとっておりましたが、昨年からは懇談会の中で意見や助言をいただく方法に変えております。

まず、報告書の3ページをご覧ください。「教育委員会の活動状況の概要報告」でございます。平成29年度は、定例会議12回が行われ、内容については、議案、報告、情報提供の概要と、話し合いの状況の一端が分かるように、委員の皆様から出された意見を簡単に記載しております。また、教育活動視察や研修活動の概要など調査活動を7ページに掲載しております。もし間違い等がありましたら、あとで教えていただければと思います。次に報告書の8ページをご覧ください。2重点施策の評価であります。教育委員会が所管する主要施策のうち、平成29年度の教育行政執行方針に掲げた施策それぞれを「項目」とし、その事業の年度内の取り組むべき具体的な事業を「点検内容」とした上で、「取組

状況」「評価」「今後の方向性」の順で明らかにしております。今年度は55ページまでの19項目を取り上げております。それぞれの重点項目の評定は、56ページからの表で示しております。それでは簡単に説明していきます。8ページをご覧ください。学校教育の一つ目にあげました「地域とともにある学校づくり」では、学校運営協議会や土曜授業の取組状況を掲載しております。それらの実践を交流し合う教育フォーラムを開催し、赤井委員からも助言をいただき、充実につなげることができました。そうしたことから、56ページにあるように評定はAとしております。この項目は昨年もAという評定でございます。12ページ「確かな学力の向上」では、全国学力・学習状況調査の結果と、各学校の取組に対する支援を掲載しております。調査の結果が中学校国語A以外は全国の平均正答率に届いていないこと。或いは、平日の学習時間が中学校において前年度よりも少なくなっていることなどから、教育委員会としてまだ取り組むことがあるという課題意識を持つという意味を含めて、評定ではCという形で示しております。昨年はBにしておりましたが、委員会としての取組をもう少しというところです。学識経験者の方からは、58ページにあります放課後学習において本当に必要な子どもへのアプローチができているかということが話題になりまして、期待するという話が出されておりました。16ページ「読書活動」では、朝読書や図書ボランティアなどの活動状況、各種会議、貸出冊数の推移などを掲載しております。学識経験者の方からも学校司書の取組が子どもたちの読書意欲の向上につながっているというお話もいただいております。そうしたところから、評定は昨年同様Aとしております。18ページ「教職員の指導力の向上」では、教育実践奨励校として、或いは、学校力向上に関する総合実践事業において様々な取組を行い、充実を図りましたが、先ほどの学力調査の結果を考え、昨年同様Bとしております。また、21ページ「豊かな心の育成」では、各校で取り組むさまざまな体験活動を掲載しております。支援の充実が図られているととらえAとしております。学識経験者の方からは、教員の多忙を心配する思いが出されておりました。28ページ「体力向上」では、調査において小学校男女が今年も全国水準以上、中学校男女も改善傾向がみられる状況にあります。学識経験者の方からも1校1実践の効果を評価していただいていることもありまして、昨年度のBからAとしております。31ページ「特色ある教育活動」では、全小学校で取り組む「スキー授業」や「温泉入浴体験」などの状況を記載しています。本市の自然や特性を活かし

た取組を支援することができたと考えAとしております。32ページの「幼保・小・中連携」では、登別市幼保・小・中連携協議会を中心にお互いの活動の視察後に実務者会議を開催するなどの取組を通して、実際に子どもたちに関わる方々の具体的なつながりを促すことができました。また、基本方針を策定し、小中一貫教育の推進を図ったところから評定を昨年度のBからAとしております。34ページ「安全指導・安全対策」では、交通安全指導や防犯教室、情報モラル教育、ネット使用に関する指導、避難訓練、薬物乱用防止教室、通学路の安全、学校施設の耐震化などの取組を掲載しています。関係機関や地域との連携のもと進めましたが、より高いものを求める項目でありますので、評定はBとしております。39ページ「不登校・いじめ対応」では、いじめの起きない体制づくりについて教育指導専門員を中心に進めている内容を掲載しております。40ページには不登校の出現率やいじめの認知件数を載せておりますが、不登校に関しては横ばいではあるものの全国や全道の出現率を下回っている状況にあります。また、いじめの認知件数は28年度に比べ減少傾向にあります。そうしたところからAとしております。40ページ、「特別支援教育」では、教育支援推進専門員を中心に学校や関係機関、保護者とのきめ細やかな連携に努めることができましたので、Aとしております。42ページ、「学校教育基本計画」では、31年3月に期間が終了しますので、策定に向けて準備を始める必要があり、重点項目に位置付けました。計画の方向性を市教委の中で確認はしましたが、具体的な動きは30年度からとなりましたので評定はBとしております。続いて「社会教育」でございます。42ページの「社会教育」では、社会教育中期計画に基づく施策について記載をしておりますが、この部分に関しては取り組む内容が多くあるため、例えば年度ごとに取組内容の重点化を図ることで成果の見取りにつなげる方法もあることなどを学識経験者からご助言をいただいております。また、学校支援地域本部から地域学校協働本部への発展に関して、体制強化の面からサブコーディネーターの設置を検討し始めましたが、まだまだ具体が見えていないことから評定はBとしております。43ページ「ふるさと学習」に関しては、昨年度の「社会教育」の重点項目から外出しをしたもので、市民意識の醸成と郷土に対する愛着、更にはアイヌ文化の伝承や普及・啓発について謳いましたが、どちらも基盤づくり、関係づくりに留まったこと。また、昨年度からの継続課題だったことを考え評定はCとしております。44ページ「家庭教育」では、家庭教育学級や通学合宿、放

課後子ども教室、家族の時間づくりプロジェクト、学校支援地域本部事業に取り組み、家庭や地域の教育力の向上が図られましたのでAとしています。48ページ「青少年の健全育成」では、巡回パトロールでの指導件数や万引き状況は昨年度と比べ横ばいではありますが、不審者出没状況は半減しているところから昨年はBでしたが今年はAとしております。50ページ「文化・スポーツの振興」では、従来の取組に加えて市の文化・スポーツ振興財団や文化協会、体育協会合同開催の事業を活用し、子どもたちに文化について考える機会を与えることができましたのでAにしております。52ページ「学校給食」では、地元食材を積極的に取り入れた献立作りや、発達期にある児童生徒に豊かでおいしい給食の提供を通して、健康の保持増進と体位の向上がなされたところから、評定をAとしております。最後に53ページ「図書館」では、図書館運営の指針となる「登別市立図書館のめざすもの」並びに、「第3次登別市子どもの読書活動推進計画」を策定するとともに、図書館資料の整備や施設・設備の改善、リファレンスサービスなどに精力的に取り組ましたので、Aとしております。以上、29年度の点検・評価報告書についての大まかな説明をいたしました。ご審議くださいますようお願いいたします。

○**武田教育長** ただ今平成29年度の教育行政事務の管理・執行状況の点検評価について説明がありましたけどもご質疑ございませんでしょうか。

○**野崎参与** 毎年、一度学識経験者の意見の入っていないものを渡して、そして、意見を合わせたものを次の会議ということで、事前にお渡しして見ていただいています。

○**赤井委員** 大変多岐に渡って点検されています。その評定の部分で殆どがAということであるので素晴らしい結果だと思います。ただCが2つあるので来年の課題になってくるのかなというふうに感じます。あと学識経験者との話し合いというのは時間的にどのくらい話されているのですか。

○**野崎参与** 資料を1月前に渡して、以前でしたら何ページかに渡って事細かくお名前も書いてもらって作っていただいたものを表記していました。それもなかなか負担だということで、今は3人の方に集まっていただいて大体2時間、項目ごとに説明をしながらいろいろと意見をいただいています。その中で精査しまして簡単な形で整理して、それを更に見てもらってから了解をもらってから表記をしています。

○**森口委員** 昨年から3人の先生ですね。

○野崎参与 はい。そうです。その前までは2人です。

○武田教育長 評定のところで意見交換があった場合4分類にしているので、全てがAというわけにはなかなか行きませんが、執行方針で取り上げる項目というのは地教行法の中では任意です。我々としては教育行政執行方針に基づいて重点項目として取り上げたものを評価対象としているということで、まずはしっかりと取り組んでいる項目です。ただ評定として十分でないという項目、今後に向けてもっと成熟させて行くのも必要でないかという意見もありました。そんなことも含めながら充実させていかなければならないものは、更に努力をしていこうというようなところもあってこのような評価となりました。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは議案第10号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは、議案第10号については承認します。以上で本日の議事は終了しましたが、その他、事務局から情報提供などありましたらお願いします。

【情報提供案件】

○橋場教育部次長 はい。情報提供資料の1ページをご覧ください。平成30年度登別市功労者表彰及び登別市表彰の被表彰者が決定しましたので、教育関係について情報提供させていただきます。まず功労者になります。3番目の江端憲一氏から5番目の野村慶子氏までの3名は、学校歯科医を永年にわたって務められましたので、功労者となっております。次に市表彰になります。2ページ社会貢献賞では、6番から8番の工藤善史氏、宮武忠司氏、日置圭氏の3名が学校歯科医により表彰者となっております。次に教育文化貢献表彰になりますが、荒生勇司氏が文化団体、吉野幸広氏が体育団体、坂井昭一氏が青少年指導委員として、それぞれ長年の功績により表彰となっております。それから篤志貢献表彰の平秀里氏になります。昨年も同じ表彰を受賞しておりますが、今回も登別中学校と幌別中学校の吹奏楽に各50万円と他部署への寄附もありまして受賞となっております。又、今年度の表彰が決定した以降となりますが、10月に幌別中学校、幌別小学校、のぞみ園

に合わせて150万円の物品が寄贈されております。また、室蘭信用金庫は、創立100周年を記念した約800万円の寄附がありまして今年の3月に移動図書館車を納品しております。それから善行表彰になりますが、佐治勇三氏と田鶴子氏はご夫婦になりますが、富岸地区の児童生徒通学時の見守りなどの地域安全活動により受賞となっております。表彰式は11月3日の文化の日に10時から行われます。各委員にも案内があると思いますので、出席可能な方はよろしく申し上げます。なお、出欠の連絡は必要ありません。以上です。

○野崎参与 はい。教育ふれあいウィークの情報提供です。本日の北海道教育の日に合わせて、この前後1週間ずつの2週に渡ってさまざまな教育活動を行い、合わせて公開するというところを取り組んでいるところでございます。その真ん中にありますけども一斉学校公開というところで、1つは終わりましたが10月27日（土）と11月10日（土）の2回公開を行います。あと各中学校の吹奏楽部の定期演奏会で幌別中学校が11月4日に行われます。裏面は、これから公開になる幌別中学校の道德の時間ですとか、幌別小学校は修学旅行の報告会を予定していたり、西陵中学校でも道德の授業、幌別西小学校では道德の授業の公開や携帯安全教室の公開、あと登別中学校では教頭先生による命と心の授業ですとか、薬物乱用教室をPTA会長に行っていたり、登別小学校でも道德の授業の公開を予定していますので、お時間がございましたらご覧いただければと思います。以上でございます。

○小野島学校教育グループ学務主幹 小学校外国語活動推進に係る取組の状況について情報提供いたします。資料は5ページをご覧ください。平成32年度からの小学校学習指導要領の全面実施に向けて今年度より移行期間に入っています。本市では小学校の外国語活動において、3・4年生で年間35時間、5・6年生で年間70時間の時数を確保し授業を進めております。その中で4月から小学校教員の指導力・英語力の向上を目指した道教委の巡回教員事業を活用し、資料の中段の右の表のように9月までに前期4校、10月より後期4校を巡回することとしています。併せてALT及びALT支援コーディネーターの派遣体制も見直し教育環境の整備を進めてまいりました。移行期間中はすべてのALTが小学校に関われるよう配慮し、指導者も児童生徒の多様な学習が展開できるように配慮しております。8月より配属になりました新しい2名のALTですけども、赴任してほど

なく環境にも慣れてきて、子どもたちとの関係づくりもスムーズに進んでいるようです。先輩のALT 2名がリードしておりまして4人の関係性も非常にスムーズにいています。ここまで小学校8校では、巡回教員等と連携をしましてすべての先生方が指導力・英語力の向上を目指して子どもたちのために自己研鑽に励まれています。また、今年度については巡回教員とALTの協働による研修会を2回実施しています。多くの先生方に参加いただいて指導力の向上につながっております。因みに年内までに小中学校それぞれの授業公開と協議を行う研修会をもう1回実施する予定です。ここまで先生方の前向きな努力を支えて、指導の充実を図るべく外国語教育に早期より取り組んできた本市の強みを生かしながら、子どもたちが意欲的に英語と親しみ、外国文化を更に身近に感じられるよう市教委としましても研修機会の設定、助言等に努めてまいります。併せて本市で取り組んでおります小中一貫教育の取り組みを活用した中学校との連携を一層進めて、外国語ですとか、道徳科などでの学習、それから教育課程を介した円滑な学校間接続を推進してまいります。以上です。

○館下学校教育グループ総括主幹 はい。登別版家族の週間の実施についてご説明いたします。資料は6ページです。平成25年度から実施してまいりました家族の時間づくりプロジェクトは平成29年度をもって終了いたしました。温泉の日帰り入浴やテーマパークの優待利用については評判が良かったことなどから、家族や地域の大切さ等についての理解や利用促進を図ることを趣旨とした内閣府が定める家族の日、週間に合わせ、新たに登別版家族の週間を実施することといたしました。内閣府が定める家族の日は、平成30年度につきましては11月18日（日）、家族の週間につきましては11月11日（日）から24日（土）までですが、そのうち11月11日（日）から18日（日）までを登別版家族の週間といたしまして、市内テーマパークや登別温泉旅館組合、公共施設にご協力をいただきまして、子どもと親の入館料等について割引特典を設けていただきました。家族の時間づくりプロジェクトの際には、休校日を設けておりましたが、今年度からは休校日を設けず、各家庭の都合に合わせて利用を呼び掛けるものであります。なお、協力いただける施設等につきましては表のとおりとなっております。以上です。

○安部社会教育グループ総括主幹 はい。社会教育グループからは平成30年度西いぶり定住自立圏文化事業について情報提供いたします。資料は7ページです。西いぶり定住自

立圏3市3町で実施しております文化芸術鑑賞事業ですが、平成28年度に登別市主管で文楽を行った事業になります。昨年は室蘭主管で、今年度も室蘭が主管ということで、1月25日（日）に室ガス文化センター大ホールにおきまして、小野リサさんの公演が行われることになっております。開演は16時でチケットを販売中でございますので、よろしければご利用いただきたいと思います。以上です。

○武田教育長 追加で教育振興基本計画がありますが、先にこれまでの中で質問等がありましたらどうぞ。

○武田教育長 よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長 それでは、次に登別市教育振興基本計画の策定について事務局から説明をお願いします。

○野崎参与 はい。お手元に登別市教育振興基本計画と現行の登別市学校教育基本計画を見比べながら説明したいと思います。登別市教育振興基本計画1ページをご覧ください。この度、登別市学校教育基本計画が平成30年度をもって終了しますので、新たな計画の策定に向けて「登別の教育推進に関する検討会議」で意見をいただきながら、今までの学校教育基本計画を見直してまいりましたが、これからは学校教育と社会教育を総合的・体系的に推進することが強く求められておりますので、今回見直した学校教育基本計画と、すでにある社会教育中期計画を「登別市教育振興基本計画」という形で大きくくくりまして、登別市総合計画の個別計画として位置付け、本市教育目標並びに学校教育目標の達成に向け、本市の教育行政の基本的な方向性を示す計画として策定したものでございます。そのような性格を「はじめに」というところと2ページの体系図で示させていただいています。合わせて現行の登別市学校教育基本計画の1ページに似たような表が載っていると思います。現行のものでは、学校教育基本計画は、学校教育の推進に関わってのもので、どちらも登別市総合計画の下にあるものですが、いま学校教育の推進は学校教育基本計画で、社会教育の推進は社会教育中期計画で進めていいますが、新しいものは登別市教育振興基本計画として、大きく学校教育基本計画や社会教育中期計画を合わせて進めていくということがこれからの時代求められているということで、今回のこのような形で策定をしました。それで学校教育基本計画の部分は30年度で計画期間が終了するので、この部分

を見直ししていったというところがございます。それでは学校教育基本計画の新たに考えた部分と今までのものをどのようなところを変えたかということを中心に説明したいと思います。新しく作ったものを第2次学校教育基本計画と表現させてもらって話をしたいと思います。学校教育基本計画は平成21年3月に策定し、この計画に基づいて学校教育の推進に努めてまいりましたが、10年が経ち計画基本が終了するに当たり、これまでの成果や課題を検証するとともに、社会情勢の変化を踏まえ、これからの10年を見通した計画の見直しを「登別の教育に関する検討会議」において意見をいただきながら進めてきました。つくりとしては、すでにある学校教育目標や推進の重点、重点Ⅰ「子どもたちの「生きる力」の育成」、重点Ⅱ「地域に根ざした魅力ある学校づくり」、更には、それぞれの3つの項立て、例えば1の「確かな学力の向上」ですとか、2の「豊かな人間性の育成」などは変わっていません。6ページを見ていただければお分かりかなと思います。骨組みは変えずに今の表現に直しながら整えたというふうに抑えていただければと思います。例えば現行のものは、1の①「基礎・基本の定着」ですが、新しいものは「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」となり、新しい学習指導要領で使われている表記等にそろえております。また、例えば新しい方の5ページ、古い方の8ページを比べてみますと、確かな学力の向上の下に四角の枠で方向性を説明しております。表記上、ここの部分も新しくしているところです。それぞれの推進項目においても、今に合わせて文言を整えましたが、それ以外で大きく変わった部分だけ、順を追って説明します。

「1 確かな学力の向上」、「①基礎的・基本的な知識及び技能の習得」では、初めのところで「個に応じたきめ細かな指導方法や効果的な学習形態等の工夫・改善を図り」という文言を入れています。推進項目では、子どもたちそれぞれの理解度に合わせた指導が重要でありますので、3つ目にある「個に応じた指導の充実」を②から移動して位置付けました。又、5つ目の「家庭学習の充実」の項目には、「学校の授業と連動した」を加え、授業と家庭学習の両方から定着度を高めることを盛り込みました。「②思考力、判断力、表現力等の育成」では、身に付けた力の活用を図る学習活動を意図的・計画的に指導計画へ位置付けることが重要ですので、初めのところにそのような文言を入れるとともに、推進項目の1つ目に新たに「年間指導計画の改善」を位置づけました。「③主体的に学び続

ける態度の育成」では、「分かった・できた」と感じられる授業づくり、「社会に開かれた教育課程」などの言葉を盛り込んでいます。

「2豊かな人間性の育成」の「①豊かな心を育む教育の充実」では、前段で、「学校図書館の学びの環境及び機能の充実を図るため、学校司書の配置を進める」という表記を加えています。推進項目は変わりませんが、主な取組の中にコミュニティ・スクールや学校司書の言葉を入れています。「②生徒指導、不登校・いじめ対策の充実」では、前段で「創意工夫と粘り強い取組」という言葉で委員会の姿勢を表現しております。推進項目では、推進の中心的存在である教育指導専門員の活用を1つ目に挙げています。又、教職員の対応力の向上のため、各種会議・研修会等の充実を加えています。「③教育相談の充実」では、まず1つ目に「電話・メール・訪問相談の充実」を位置づけています。現行のものには4つ目に「いじめ問題への適切な対応」とありますが、②の方にまとめました。

「3たくましく生きるための健康や体力づくり」の「①心身の健康保持増進や体力向上の推進」では、1つ目のところで実態把握から向上策の立案・実践という形で、一歩進んだ表記にしています。現行の5つ目「薬物乱用防止」、6つ目「性に関する指導」は、保健指導の充実による健康意識の向上でまとめました。「②食育の推進」では前段に「引き続き児童生徒に安全で安心な給食を提供するため、施設の整備や環境の改善に努めます」と表記し、推進項目の4つ目に「学校給食センターの施設の整備」を新たに加えました。「③家庭や地域社会との連携」では3つ目に「地域の各団体との協働」を加えています。「④指導者の育成、指導技術の向上」は、大きく変えてはいません。

重点Ⅱに移ります。まず初めの言葉ですが「地域に根ざした」という言葉を入れて魅力ある学校づくりを表しています。重点Ⅰと同様に、3つの項立てにおける方向性を四角の中に示しております。「1特色ある教育活動の推進」の、「①時代の変化に対応した教育活動の推進」では、10年前とはいろいろな部分で変わっているところがありますので、推進項目も整理をしているところがございます。今回推進項目の3つ目に「土曜授業」についての表記を新たに入れてあります。また、現行のものには読書活動の推進、食育の推進がありますが、今まで説明した重点Ⅰで整理をしています。5つ目の「キャリア教育の推進」は、このあとの②からこちらに移動させています。「②総合的な学習の時間の充実」では、推進項目の2つ目にこの時間の特質を踏まえた学びの充実として、しっかり内容を

とらえた表記をしています。「③体験活動の充実」では、推進項目の2つ目と3つ目に「スキー授業」と「温泉入浴体験」を新しく入れています。「④情報教育」に関しては、現行は「情報機器の効果的な活用」という表記にとどまっていたが、今回「情報教育（ICT教育）の推進」という形で捉え直しました。前段の表記も授業での積極的な活用から、児童生徒の情報活用能力の育成、系統的な指導計画の作成、指導方法に関する調査研究という言葉を入れています。推進項目は、4つ目に「プログラミング教育の調査研究及び推進」を新たに加えております。

「2開かれた学校づくりの推進」の方向性は、学校運営協議会制度の活用を中心に進める旨の表記をしております。「①学校公開や地域交流・連携の推進」は、現行では3つ目に「学校支援ボランティアの活用」とありますが、この内容は次の③に移動しています。新しく3つ目に「小中一貫教育の推進」、4つ目に「幼稚園・保育所と小学校との連携促進」を加えています。「②地域・家庭との連携促進」では前段に学校評価を盛り込み、現行の④に項立てをしていた「学校評議員、学校評価の活用促進」を推進項目の3つ目にまとめました。そして1つ目の推進項目、家庭に関しては連携の強化という言葉で強調しています。2つ目の地域に関しては、開かれた教育課程や協働という言葉で具体的に表現しています。「③地域の教育力の活用」では、主な取組の中に放課後学習サポートを入れ、専門家による支援は、重点Ⅰの②の生徒指導のところにまとめました。

「3教育環境充実」の①では、現行では「施設・設備の安全確保」と表していた部分を「学校の適正配置等」と表現し、定期的な保守点検だけではなく、学校の適正配置や学校施設の長寿命化計画などの言葉を入れています。耐震化については②に移動しました。現行の「②安心で衛生的な教育環境の充実」では、新しいものは児童生徒の安全確保と安心で衛生的な教育環境の充実の2つに内容を分けて表現しました。新しい「②児童生徒の安全確保」には、推進項目として3つ目に「通学路の安全確保」を加えています。又、新しい「③安心で衛生的な教育環境の充実」には、推進項目に学校保健委員会の取組とアレルギーへの対応を新たに加えております。「④特別支援教育の体制づくり」では、例えば「登別市就学指導委員会」から「登別市教育支援委員会」に言葉を改め、現在の表記に代えております。「⑤教職員の資質・能力の向上」では、前段に学び続ける姿勢の維持と教師としての力量を高めるなどの言葉を入れるとともに、推進項目には新たに「教職員のワ

ークライフバランスの推進」という項目を起こし、教職員が健康でいきいきとやりがいをもって勤務することのできる環境整備について盛り込みました。以上、登別教育振興基本計画並びに、その中の学校教育の推進の部分である第2次学校教育基本方針についての説明でした。

○**橋場次長** 今後のスケジュールになります。本日の情報提供を踏まえて、12日に総務・教育委員会がごございますので、内容とパブリックコメントの説明を行います。それを経て12月1日から1月7日までパブリックコメントを行いまして、そこで意見があれば1月中旬までに調整を行いまして、下旬にはこの計画案を作るにあたりまして登別の教育推進に関する検討会議を立ち上げておりますので、そちらに報告後、2月上旬に総務・教育委員会に報告を行い、2月の教育委員会で決定し、3月に印刷と発行というスケジュールになっております。

○**武田教育長** はい。計画案の中身の説明とスケジュールについて説明がございましたけれども、何かこの段階でご意見等ことがございましたらどうぞ。

○**赤井委員** 学校評議員というのは今置いているところはあるのですか。

○**武田教育長** いいえ。登別は学校評議員制度をコミュニティ・スクールの運営協議会制度に移行していったと。ただ当時は、段階を踏んでということでしたが、今はすべての学校が運営協議会に移行しましたので評議員はおりません。

○**赤井委員** 16ページの評価の活用のところは学校評議員と書いているのですが。

○**野崎参与** 3番の学校評価の活用のところ。いま教育長から学校運営協議会の中に機能を持たせているという意味でございませう。そこで評価されたものを又評価していただくということを運営協議会の中でやっている。全く評価自体をやっていないというわけじゃないです。

○**赤井委員** 評価そのものはいいのだけでも、言葉の中に学校評議員と今までいわれた方が学校運営協議会委員に変わっていたのではないかと思っていたので。

○**武田教育長** 誤解される可能性がありますね。運営協議会はコミュニティ・スクールとしての機能と学校評価をするという機能も持っているから、むしろ評価委員といった方がいいのではないのでしょうか。今更ですけど。

- 野崎参与 学校関係者評価委員会を兼ねているというふうに先ほどの点検・評価の図の中ではなっています。
- 館下総括主幹 学校運営協議会委員という形で委嘱しているので、文言修正が必要だと思います。
- 野崎参与 じゃ、学校運営協議会委員。点でこうやっているから赤井委員がおっしゃるように2つあるような感じになっているので。
- 赤井委員 まだ残っているのかなと思ひまして聞いてみました。
- 武田教育長 むしろ運営協議会よりも学校評価委員会委員といった方がいいのではないのでしょうか。
- 野崎参与 ちょっとここは誤解の無いように直したいと思います。
- 武田教育長 そのほかございませんか。
- 赤井委員 10年経つと内容が大きく変わるというか、また更に10年経つとまた違ってきますね。
- 垣内委員 内容は違いますが、給食センターの室蘭とのお話があるようですが、これとは離れるかもしれませんが、どういう方向で進んでいるのでしょうか。
- 吉田学校給食センター長 先月の決算委員会でも話題になりましたが、今の状況はお互いの給食センターについて詳細を知る必要があるのではないかとということで、いま事務方で情報交換を進めております。過去にも広域化については検討した経緯もありますが、まずは室蘭市との広域化の可能性を探っている段階でございます。まだ具体的なものについてはありません。
- 垣内委員 分かりました。以前は室蘭の給食センターは驚別に近いところと、絵鞆の方と両方がありました。子どもの減少とかと合わせてそういう議論が出てくるのも当然のことなのかなというふうに思っておりました。ありがとうございます。
- 堅田委員 学校保健委員会を中心という言葉が入っているのですが、あまり学校保健委員会を開催している学校が少ないと耳にしているので、是非ここは強調していただきたいと思います。
- 野崎参与 当然そういう意味も込めて。登別小・中は合同で開催しているというお話も聞いています。

○武田教育長 よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは基本計画に関わる説明はこれで終了いたします。最後に11月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回の開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

○橋場次長 11月の教育委員会につきましては、登別中学校を会場に移動教育委員会となります。開催日は11月29日、日程は15時45分に集合し、45分から熊舞の指導をご覧いただき、16時から校長との懇談、16時半から教育委員会を予定していますがいかがでしょうか。

○武田教育長 11月29日皆さんの都合はいかがでしょうか。大丈夫でしょうか。

(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは11月の定例の教育委員会は、11月29日(木)15時45分登別中学校に集合とします。詳細につきましては後日事務局よりお知らせください。以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。